ミッション別動画撮影方法

* **Lチカ（撮影は切らずに行う）**

1. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体全体を撮影。
3. ペイロード部からmicro:bitを取り出す様子を撮影する。
4. micro:bitのLEDを動画で撮影し、点滅していることを記録に残す。

* **タイマー（撮影を切らずに行う）**

（目的の時間の計測ができたときにLEDの点灯等で計測ができたことがわかるようなプログラム・計測した時間を記録するプログラムの書き込みをmicro:bitに書き込む。）

1. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体全体を撮影。
3. ペイロード部からmicro:bitを取り出す様子を撮影する。
4. micro:bitのLEDを動画で撮影し、計測が完了した反応をしているかの撮影。
5. 計測した時間を記録したものを表示し、カメラで撮影する。
6. 画像ファイルを「.JPG」にして打上動画と一緒に提出。

* **ブザーを鳴らす（撮影は切らずに行う）**

1. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体を撮影。
3. ブザーが鳴っている様子を動画撮影する。（ブザー音の確認をするため、無音動画の撮影はしないこと）

* **磁気センサでのデータ取得（撮影は切らずに行う）**

1. 磁気センサで取得した値をcsvファイルに保存するプログラムを書いておく。
2. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
3. 打上完了して、完全に着地した機体全体を撮影
4. ペイロード部を取り出し、プログラムが動作したかを確認する様子を撮影する。
5. PCでcsvファイルに保存されたデータをグラフ化する。
6. グラフにしたものを画像ファイルにして、打上動画と一緒に提出。

* **ペイロードに搭載したカメラでの撮影（撮影は切らずに行う）**

1. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体を撮影。
3. ペイロード部を取り出し、プログラムが動作したかを確認する様子を撮影する。
4. 機体のカメラで撮影できた画像ファイルを「.JPG」にして、打上動画と一緒に提出。
5. 動画の場合は「.mp4」にして、打ち上げ動画と一緒に提出。

* **micro:bitによるカメラ制御（撮影は切らずに行う）**

1. micro:bitにカメラモジュールが接続されている画像を撮る。
2. カメラが動作した証拠が残るプログラムを書き込む（撮影を行うと特定のLEDが点灯するなど）。
3. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
4. 打上完了して、完全に着地した機体を撮影。
5. ペイロード部を取り出し、プログラムが動作したかを確認する様子を撮影する。
6. 撮影された画像を「.JPG」にして打上動画と一緒に提出する。

* **加速度検知でLED点灯（撮影は切らずに行う）**

1. 打上開始から着地までの一部始終が撮影できる定点から撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体全体を撮影。
3. ペイロード部からmicro:bitを取り出す様子を撮影する。
4. LEDが点灯している様子を撮影。

* **光センサで取得したデータをBLE（Bluetoothによる通信）で送信し、PCで受信**

**（撮影は切らずに行う）**

1. 打上開始から着地までの一部始終の撮影を行う。
2. 打上完了して、完全に着地した機体全体を撮影。
3. 撮影を続けたままPC画面に受信されたデータを表示し、PC画面を撮影。
4. 画像を「.JPG」にして打上動画と一緒に提出。

* **加速度センサでの検知**

1. 検知した加速度を記録媒体に記録するプログラムを書き込む
2. 打上開始から着地までの一部始終の撮影を行う。
3. 打上完了後、撮影を続けたままセンサで記録したものを参加者のPCで表示し、それを写真にとる
4. 2．で撮影した画像を「.JPG」にして、打上動画と一緒に提出

* **パラシュートの展開（撮影は切らずに行う）**

1. 打上のカウントダウンから撮影を開始する
2. 撮影は観測点からカメラを動かさずに着地までの様子を取れるように十分距離をとる
3. 機体が着地し、完全に静止してから打ち上げ後の気体を撮影する
4. 展開のために関わったものをすべて作動したことがわかるように撮影する

* **物体の放出（撮影は切らずに行う）**

1. 打上のカウントダウンから撮影をする。
2. 撮影は観測点からカメラを動かさずに着地までの様子を取れるように十分距離をとる。
3. 物体が放出されている様子を撮影する。
4. 機体が着地し、完全に静止してから打ち上げ後の機体を撮影する。
5. 物体の放出に関わった仕組みがすべて作動していることがわかるように撮影する。

* **上空からの指定対象の撮影**

1. 打上開始から終了までの一部始終を撮影する。
2. 撮影をつづけたままペイロード部からカメラを取り出す様子を撮影する。
3. 機体に搭載したカメラで指定対象をフライト中に撮影する。
4. 撮影した画像を「.JPG」にして打上動画と一緒に提出。

* **着地点制御（撮影は切らずに行う）**

1. 機体の着地予定地点の様子を打上前に撮影する。
2. 打上から着地まで一部始終が記録できる定点から撮影する。
3. 機体着地後、2で使用していたカメラで撮影を続けたまま着地点までいく動画を撮影する。